

2024年2月8日

各位

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

オープン系共同利用型クラウド勘定系システム 「統合バンキングクラウド」の検討について

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）および北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、MEJAR参加行である横浜銀行、七十七銀行、東日本銀行および広島銀行（2030年度に共同利用を予定）とともに、次期勘定系システムの基盤に関して、NTTデータが構築する国内初となるオープン系共同利用型クラウド勘定系システム「統合バンキングクラウド」について、下記のとおり検討を進めていくことを、お知らせします。

記

1. 概要

北陸銀行および北海道銀行は、MEJAR参加行とともに、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、勘定系システムの基盤に関して、従来の「メインフレーム」から、さまざまなハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」を、2024年1月に採用しました。なお、「オープン基盤」では、NTTデータが開発・提供する「PITON™（ピトン）」（注1）を国内で初めて採用しております。

今後、より安心・安全・安価・永続的な勘定系システムを利用しつつ、経営資源を戦略領域に集中することで、お客さまに付加価値の高いサービスを提供することを目指し、次期勘定系システム（2030年度を予定。広島銀行との共同利用含む）の基盤検討の一環として「統合バンキングクラウド」（注2）について検討を進めます。

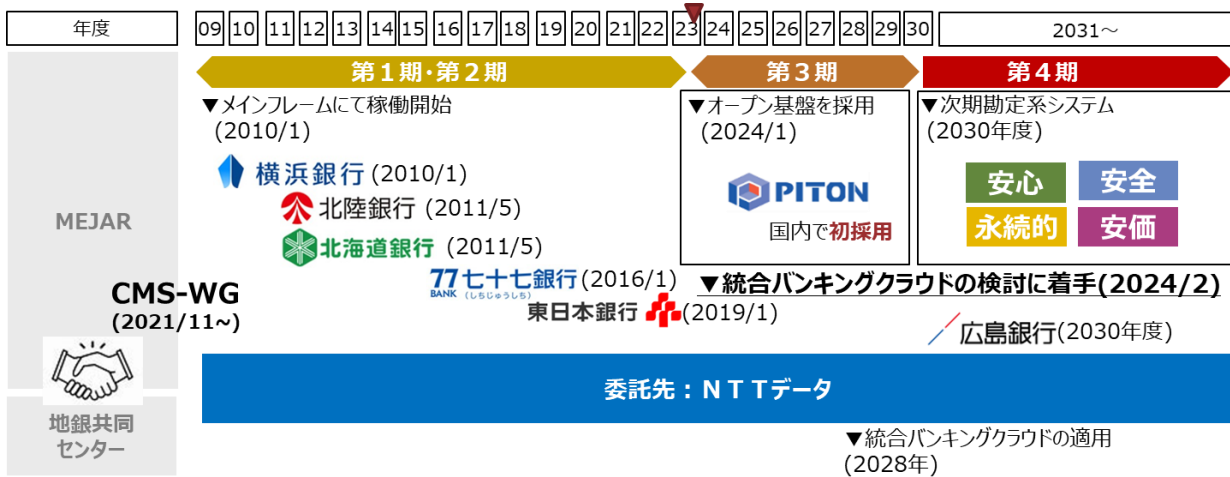
なお、「統合バンキングクラウド」は、共同研究会「CMS-WG」（注3）の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取組みの一環であり、地銀共同センターは、2028年の「統合バンキングクラウド」の第一号適用を目指し、取組みを進めていく予定です。

（注1）NTTデータが開発したメインフレーム向けに開発された業務アプリケーションをオープン基盤上で稼働可能とするフレームワーク。

（注2）NTTデータが金融機関専用のコミュニティクラウドを構築し、地銀共同センターやMEJAR等の更なるシステム共同化を図る構想。共同化の範囲は、データセンター設備やハードウェア部分のみであり、業務アプリケーションは、従来どおり共同化グループ毎に開発する。

（注3）地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ。地銀共同センターおよびMEJARが、共同化グループの枠組みを超えた勘定系システムの効率的運用等を検討するため、2021年11月に設立。

2. 今後のスケジュール



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

ほくほくフィナンシャルグループ

北陸銀行 システム統括部 TEL 076-432-2777

北海道銀行 システム統括部 TEL 011-815-1117